

もよおし

10日夜を除いて区民ギャラリー内無料

8月9日(木) 13:00~14:30

<品川の戦争の事実を知る>

コーラス(たんぽぽ)

「私と小鳥と鈴と」「たんぽぽ」「約束の歌」「青い空は」

体験者の証言(学童疎開・空襲・戦時下の暮らし)

DVD上映:戦後70年特別企画「いま聞いておきたいあの日の記憶」

品川のチ・カ・ラ 「品川の集団学童疎開」等

8月10日(金) 13:00~14:30

<平和のために憲法を考える>

憲法カフェ 憲法の疑問みんなで考えよう

特別講演 8月10日(金) 18:30~20:00

(きゅりあん4階 JR大井町線・東口下車3分)

「明らかになった安倍政権の正体—『安倍改憲』を阻止するための私たちの課題」

立正大学名誉教授 金子勝さん

共催:平和のための連絡会 資料費300円

8月11日(土) 13:00~14:30

<侵略の事実から目を背けない>

コカリナとギター演奏(品川コカリナアンサンブル) ギター演奏 嶋田昭治さん

「青い空は」「椰子の実」「生まれいづる朝」「故郷」

講演:「今・戦争と平和の岐路に立ちて—撫順・方正を訪ねて—」

中央大学名誉教授 姫田光義さん

8月12日(日) 13:00~15:00

<戦争を語り継ぐ—子連れで参加してください>

○講演:「昔ばなし絵本にみる戦争」

□承文芸学研究者・元大学教員 米屋 陽一さん

○戦争民話かたり<日本民話の会>

・岩崎文子さん さくら湯—残された若妻の話—

・土井一美さん 母の長崎原爆体験

・中村貞子さん 樺太からの引き揚げ

○沖縄の歌と踊り(照屋三線クラブ)

募金のお願

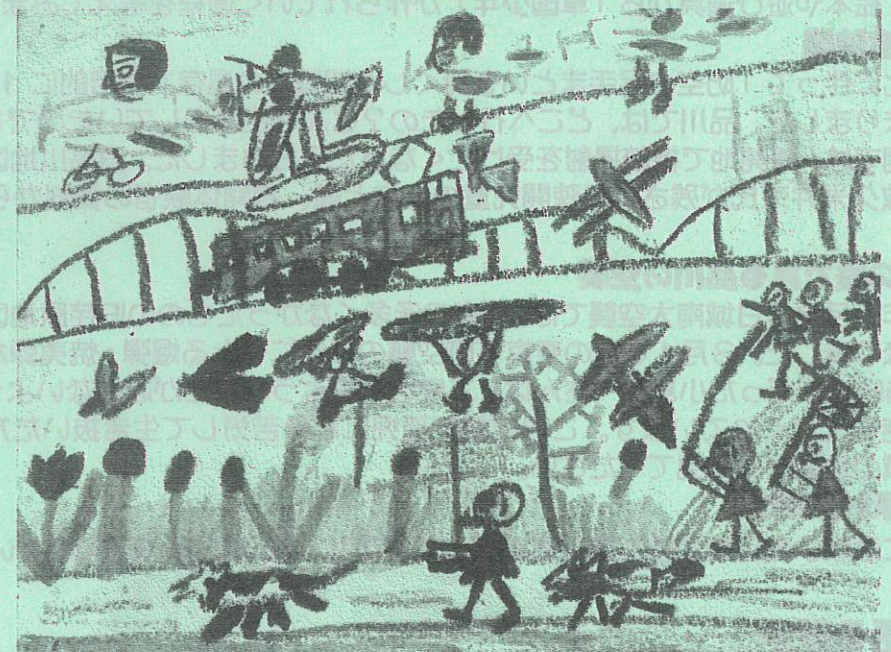
「しながわ平和のための戦争展」は個人参加の実行委員会が賛同する皆様からの事前のまたは会場での募金をもとに毎年開催しております。会場募金は、運営の大きな支えです。募金をよろしくお願いします。

しながわ 2018年 第35回

平和のための戦争展

語り継ごう歴史の真実—戦争をする国にさせないために—

子どもたちの未来に戦争はいらない



昭和20年1年生 長ヤス久 画

とき 8月9日(木)~12日(日)

10時~19時(12日は16時まで)

ところ 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

JR京浜東北線・東急大井町線 大井町下車 徒歩3分

主催:しながわ平和のための戦争展実行委員会

◎ 連絡先 080-5693-8261(西條明子) 03-3727-8382(扇谷道子)

第35回しながわ平和のための戦争展にあたって

「地域の戦争の事実を語り伝えたい」と始まった「品川平和のための戦争展」も35回を迎えました。「孫に学童疎開を知らせたい」と疎開地を訪ねて出会った故柳瀬峰夫さん、当時の先生や疎開地の方に聞き取りをする中で出会った故久米井束さん（戦争中品川区の「視学官」をしておられ学童疎開の絵や作文を収集していた）から預かった資料を今回久しぶりに展示しています。親から子へ孫へ、地域へ戦争のことを「伝えること」を大切にしていきたいと思っています。 2018年8月 しながわ平和のための戦争展実行委員会

○地域から戦争を考える

子どもたちの暮らしの中に戦争が

子どもたちの暮らし、教育はいつの間にか戦争色に染められていきました。当時の教科書や写真から、絵本や遊び道具から「軍国少年」が作られていく過程を考えてみませんか？

品川の学童疎開

戦局の悪化に伴って「防空の足手まといを無くし次期戦力の温存」を目的に1944年学童疎開が始まりました。品川では、どこへ行ったの？どんな生活をしていたのでしょうか。品川の学童疎開では、疎開地で機銃掃射を受け亡くなった子もいました。旧品川地区の視学官をしていた故久米井束氏が残された疎開児童の作文と絵、疎開体験者の資料からたどります。

小島さんの絵で見る品川の空襲

1945年5月24日城南大空襲では、死者こそ多くなかったものの旧荏原地区はほとんど丸焼けになりました。3月10日の東京下町空襲の3倍にも上る爆弾・焼夷弾が落とされたのです。当時少年だった小島義一さんは、二度とこのようなことが起きないようにと、体験を絵に描き伝えてくれています。この空襲で孤児になり苦労して生き抜いた方もいました。焼失地域の地図と共に見てください。

品川の戦争遺跡

品川区には戦争の足跡がまだまだたくさん残っています。親子で歩いてみませんか。

○実物が語る戦争

絵本や雑誌、遊び道具にも戦争が入り込んでいきました。戦争に行く兵隊さんへの手紙や慰問袋、千人針も日常となりました。金属は兵器に使うため供出させられ、服のボタンや手りゅう弾、地雷までも陶器で作られたものが使われるようになりました。実物から戦争のことを語り継ぐきっかけにしてほしいと思っています。展示品は個人から提供されたものです。

○侵略の事実から目を背けない-対日中全面戦争は大規模な毒ガス戦だった

明治以降日本政府は日清・日露戦争で中国への侵略をおしすすめ、更に、1931年には「満州事変」をおこし中国東北部を支配。1937年には日中全面戦争へと戦争を拡大。この間日本は三光作戦（「殺しつくす」「焼きつくす」「奪いつくす」）を行い、また、1925年ジュネーブ条約議定書で禁止された毒ガス（日本は調印したが批准せず）を使用、「8年間の対中国戦争は最後の1年間を除き大規模な毒ガス戦であった。」といわれている。

さらに敗戦後、毒ガス弾は各地に遺棄されて多くの住民に被害を与えている。

○戦争で侵害された女性の人権 日本軍「慰安婦」から#me too まで

韓国人のキム・ハクスンさんが日本軍「慰安婦」であることを名乗り出て日本政府に謝罪と賠償を求めたのは戦後46年経ってからでした。しかし、真実は私たちに知らされる機会もありませんでした。2015年安倍政権による韓国との合意も正式謝罪ではなくいまだ真の解決に至っていません。日本軍「慰安婦」の事実を知ることが、現代の女性への暴力・女性

○日本国憲法を考える

2015年「安保関連法」が成立してから、市民社会に「戦争する国」の姿が広がり始めています。安倍首相は昨年、「憲法改正を実現して2020年には施行する」と明言しましたが、国民が理解しないままに短期間で憲法改正国民投票を行うことはできません。現在の「憲法改正（案）」はどのようなものか学び、平和の歩みを続けるために何ができるか私たちの希望をこめて考えます。

○沖縄の基地は今？

そもそも琉球王国と日本の関係は、どうなっていたの？辺野古の基地は今どうなっているの？どう使われることを想定しているの？米軍基地によって沖縄の経済が支えられているって本当なの？あまり、知らされない沖縄の基地のこと平和のために考えましょう。

○核廃絶への道

「核兵器禁止条約」が国連で採択されて1年。世界はすこしずつ変わっています。批准した国も13か国になりました。核保有国の圧力にも負けずにです。米朝首脳会談が実現し、非核化と平和体制構築に向けたプロセスが始まったのです。草の根の運動で頑張っている国もあります。条約の発効を実現するために力を合わせる、世界と日本の動きを展示します。

○平和の心を書で

自分が共感し感動した言葉を書作品にと話し合っ、先ず「今年は憲法でしょう」と取り組んだ三人の仲間。沖縄の戦没者追悼式で読まれた詩を書く人。自作の俳句や感動した句を書に、それぞれの思いで心を込めて書きました。

○「戦争する国にさせないために」私たちができること

「戦争する国にさせないために」様々な活動が広がっています。地域での活動を紹介します。